

金沢大学における大学の自律的な改善活動を実現する FD/SDを牽引する研修担当人材育成の実践

上畠洋佑 松村典彦 杉森公一(金沢大学)

「教育関係共同利用拠点」制度とは

複数大学が連携して実施することが効果的・効率的な教育上の取組や学生支援に関し、複数大学が共同で利用するための拠点を整備・運営する場合の文部科学大臣認定制度

金沢大学国際基幹教育院高等教育開発・支援部門は、大学の職員の組織的な研修等の実施機関(15機関)の一つ「教育改善・大学の組織開発を支える研修人材育成拠点」として2017年8月16日に文部科学大臣から認定された。

FD (Faculty Development)

こんなことで困っていませんか？

- アクティブ・ラーニングの授業で、学生は本当に学んでいるのだろうか!?
- 少人数制の演習や時間外学修をアピールしたものの対応できる教職員が少ない…

FDの課題

- アクティブ・ラーニング型授業の導入が進む一方、質に大きな差がある
- アクティブ・ラーニング型授業の多様化
- アクティブ・ラーニング型授業に合う成績評価が必要である

実践予定研修[FD]

FDAL (Faculty Development of Active Learning)

学修ピアチューター(ALA)を育成することのできるALAコーディネーターを育成する研修群

- 「学びをうながす」
 - 学習の科学 / SoTL
 - アクティブ・ラーニングの理論
 - アクティブ・ラーニング型授業の設計
 - アクティブ・ラーニングの技法
 - ファシリテーション
 - 学修評価
 - アカデミック・ライティング
 - 多様な学生の学修を保障する
- 「学びを支える環境をつくる」
 - ピア・チューター概論
 - 学修ピア・チューター制度の設計、評価、運営、コミュニティづくり
 - 学修ピア・チューターと作る授業 (活動事例)
 - 学修ピア・チューターの養成

統合する研修

- 自大学に適した学修ピア・チューター制度の設計演習
- 学修ピア・チューター制度運営実習

SD (Staff Development)

こんなことで困っていませんか？

- 学生を支える仕事とはいえワークライフバランスもしっかり考えて働きたい
- ますます高度化する社会からのニーズに対応できるスキルのある職員がまだまだ少ない…

SDの課題

- 大学の経営環境の変化に対応できる人材育成の仕組みが十分に整備されていない
- SDを企画・実施できる人材が少なく、大学の多様化に対応できていない
- SDは義務化されたが各大学は具体的に何をすればいいか未だ模索中

実践予定研修[SD]

SDLP (Staff Development Leader Program)

「強く」とは…グローバル化が進展し、競争が激しい中でも生き残れるスタッフ

- 大学職員マインドセット研修
- 「科学的な思考」を学ぶサイエンス・スキル研修
- 組織デザインと組織への埋め込みスキル学習
- ケースメソッドSD【実践力・リーダーシップ編】
- 【ケース例】意思決定トレーニング、プレマネジメントトレーニング、初任者トレーニング etc

「優しく」とは…リアルな大学組織の現状において他者と対話し、共感し、導いていくことのできるスタッフ


- 大人の発達障害理解と支援
- 職場のメンタルヘルス
- コミュニケーション能力・傾聴力育成
- ファシリテーション研修
- ケースメソッドSD【共感・対話編】
- 【ケース例】キャリアパス、ダイバーシティ、大人の発達障害・メンタルヘルスプログラム etc

「しなやかな」とは…今後激化する経営環境でもしなやかに生き抜いていけるスタッフ

- 民間企業とのコラボレーション研修
- マインドフルネス

3つを統合する研修

- ケースライティング演習
- SDプログラム設計演習+自大学での実習



FD/SDプログラム

1st half デイタイム型研修

サイエンススキルプログラム

2017年12月16日(土)
参加者数 11名

科学的思考で自大学SDを企画・設計できるスキルを獲得する目的で実施。

ケースメソッド体験

ケースメソッドを体験的に学習し、ケースメソッド型SDについて理解する目的で実施。

ケースライティングプログラム

ケースの書き方について理解し、ケースを書けるようになる目的で実施。



3名の参加者が研修終了後にケース作成に取組に取り組んだ。

2nd half 合宿型研修

組織デザインと組織埋め込みスキル学習

企画したSDプログラムを各大学で実現できるスキルを獲得する目的で実施。

ケースメソッドワークショップ実習

作成したケースを用いて、継続参加者がワークショップを運営した。

授業/研修バックワードデザイン

SDLP・FDAL共同で実施した。(FDAL参加者はこのプログラムのみ)

2018年2月3日(土)
参加者数 32名
(SDLP14名、FDAL18名)
FDAL参加者は日帰り。

2018年2月4日(日)
参加者数 14名



拠点事業実践の波及効果

SDLP参加者4名が、ケースメソッド型SDを自大学の人材育成研修等として企画・実施する予定である(2018年3月に1大学で実施済:参加者15名) 2018年8月開催のSPODにおいて1講座開講予定である。